

施策分析シート

No1

施策名	南千住地区市街地再開発事業等の推進	施策No	13-01	部課名	都市整備部再開発課
				課長名	齊藤秀喜
				内線	2830
関連部課名	都市計画課、道路課				
行政評価事業体系	分野	防災・まちづくり・環境			
	政策	都市基盤の整備			

目的

南千住駅東側地域においては、快適な居住環境の創出、都市機能の更新、美しい都市景観の形成等を図りつつ職住近接型の良質な市街地住宅の供給を推進するため事業を行う。
 駅西側地区においては駅東側地区の開発やつくばエクスプレス開業と連携した、既成市街地の再開発事業を進めることにより、駅東西地区を一体化した街づくりをめざし、住宅等の建設、公共施設の整備を進め賑わいの創出を図る。

	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)	
指標	① 公共公益施設の整備	44.41%	44.41%	98.22%	263,230㎡ (100%)	西口駅前広場、道路整備、公園
	② 都市型住宅の整備(戸数)	4,623戸	4,639戸	5,430戸	7,215戸	住市総、白鬚西、南千住西口駅前
	③ 都市型住宅の整備(率)	64.07%	64.30%	75.26%	100.00%	住市総、白鬚西、南千住西口駅前
	④ 商業・業務施設の整備	98.12%	98.12%	98.12%	28,657㎡ (100%)	住市総、白鬚西、南千住西口駅前 (賑わいのある利便施設の整備)
	⑤ 乗降者数	15,644 (百人)	17,923 (百人)	—	—	地下鉄、JR、つくばエクスプレスの各南千住駅
	⑥ 人口	41.10%	80.04%	83.01%	21,773 (100%)	計画人口：住市総(6,600)、白鬚西(14,700)、南千住西口駅前(473)

現状と課題

- ・白鬚西地区における住宅供給が急速に行われていることから、小学校等の子育て関連公共施設の建設と、総合病院の誘致が求められている。
- ・住市総事業で計画されている道路事業が完成する目途が立たない。

今後の方向性

- ・小学校等の建設と病院誘致について東京都や事業者と連絡調整を図り実現させる。
- ・住市総で整備する道路・公園等の公共公益施設がほぼ完成している(補助321号線と補助189号線を除く)。このため残っている道路整備を単独の道路事業に移行させ、住市総事業を終了させる。
- ・駅東側の賑わい施設が整備済みであり、駅西側の再開発を進め整備していく。

* 住市総：住宅市街地総合整備事業

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	荒川区の顔にふさわしい市街地として、南千住地区の整備を進める。つくばエクスプレスの沿線都市との産業連関にも寄与するよう推進する。

施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
セメントサイロ跡地利用計画	09-01-20	0	0	A	地主であるJR貨物との協議を円滑に進め、地域活性化施設の導入を図ることは、地域イメージの形成に大きく貢献する。
南千住地区住宅市街地総合整備事業の推進	09-03-01	114	130	C	住宅整備は平成19年度末には全て完了し、道路整備の一部を残すのみとなり事業完了に向けて継続していく。
南千住東口駅連絡通路関連事務	09-03-02	90	16,909	D	平成17年度に事業完了
東京メトロ代替地等の管理事務	09-03-03	1,204	201	C	暫定利用を継続していく。
南千住駅連絡通路整備工事	09-03-04	0	1,436	B	南千住駅の3駅の利用者や交通広場利用者の利便性の向上を図るために、事業完了(H19年度予定)を推進する。
南千住駅前西地区再開発事業の促進	09-03-05	78,096	187,481	A	平成20年度の事業完了に向けて継続する。
白鬚西地区市街地再開発事業	09-03-06	250	2,115	A	子育て施設の整備及び病院の誘致を確実に行う。
南千住駅連絡通路整備費	10-02-16	6,589	96,326	B	南千住東西広場及び南千住3駅利用者の利便性を確保するための、極めて重要な道路整備事業である。
南千住駅連絡通路	10-02-30	747	7,294	C	南千住東西広場及び南千住3駅利用者の利便性を確保するための、極めて重要な道路整備事業である。
合 計		87,090	311,892		